

解体工事

- 設備の解体作業は、ダイオキシン類・アスベストの除去作業終了後に実施します。
- 建物の解体作業は防災シート等により囲い込みを行ない、散水により粉じんの飛散を抑制します。



設備解体作業



設備解体完了



建物解体作業



土間・基礎解体作業

環境調査

- 解体工事による周辺環境への影響の確認、労働安全及び廃棄物の適正処理を目的として、大気測定、土壌調査、作業環境測定、粉じん測定、付着物・廃棄物調査。河川の水質等の調査を実施します。



大気測定



土壌調査



作業環境測定



粉じん測定



付着物・廃棄物調査



河川水質調査

工事工程表

工 種	令和8年						令和9年		
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施工計画・検査	工事計画書の作成								
仮囲い 仮設設備設置	仮囲い・事務所設置								
諸官庁届出	各種届出								
環境対策仮設工事		環境対策仮設工事（飛散防止定場・食在粉じん装置・排水処理装置等）							
ダイオキシン類除去工事		ダイオキシン類の除去工事							
アスベスト建材撤去工事			アスベスト建材の撤去工事						
プラント設備解体工事				プラント設備の解体					
建物解体工事					建物の解体				
煙突解体工事						煙突の解体			
場内整備工事								埋戻し・整地	
環境調査	解体工事前の調査		工事期間中の調査						解体工事後の調査

川西清掃センター解体工事

近隣にお住いの皆様へ

解体についてのお知らせ



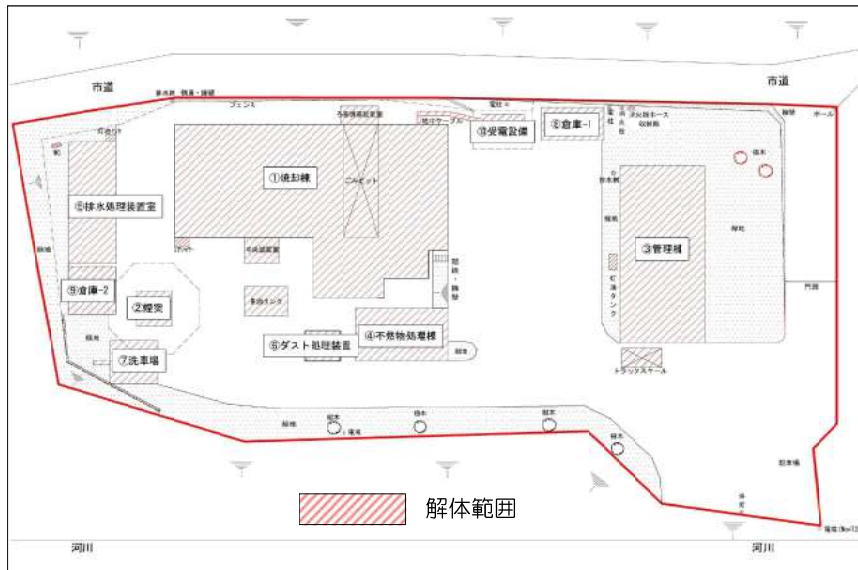
発注者：川西保健衛生施設組合

監理者：株式会社 中部設計

施工者：日本管財環境サービス・竹花組 特定建設工事共同企業体

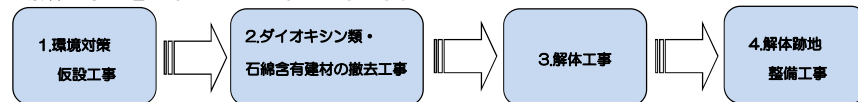
工 事 概 要

- 工事名称： 川西清掃センター解体工事
- 工事場所： 長野県佐久市大字望月 2114 番地 4
- 全体工期： 令和 8 年 5 月 26 日～令和 9 年 3 月 31 日
- 解体施設概要： 川西清掃センター
 処理能力：20t/日（10t/日×2炉）
 工 場 棟：鉄筋コンクリート部鉄骨造、地上 3 階
 煙 突：外側：鉄筋コンクリート造、内側：銅製 高さ 40m
 付 属 棟：管理棟・不燃物処理棟・排水処理棟・倉庫・洗車場



作 業 概 要

解体工事の進め方は以下に示すとおりです。



周 辺 環 境 対 策

環境対策仮設工事

① 作業場所の分離・養生

- ダイオキシン類・重金属類を含む残留灰の除去作業時は、建屋の開口部・換気口等をテープ又はビニールシートなどで塞ぎ密閉を行います。また作業場内部は、除じん機能を有した負圧集じん装置により負圧に保ち、内部の粉じんが外部に流出しないようにします。

② 汚水拡散防止養生

- 作業場の床面は、土間コンクリートを打設することにより、作業で発生する汚水が土壌中へ漏出浸透するのを防止します。なお、床面は必要に応じコンクリートブロックの防液堤を設け、汚水の流出を防ぎます。



開口部養生(ワッド・ファシオ)

開口部養生(窓・扉養生)

漏水防止防液堤

大型負圧集じん装置

排水処理装置

残留付着灰の除去工事

- 解体工事に先立ち、各設備に付着したダイオキシン類を含む付着灰を高圧洗浄により取り除きます。
- 作業時は、防塵防毒マスクや保護服を着て作業を行います。
- 洗浄作業に伴い発生する洗浄排水は、水処理装置で処理し、循環再利用を行います。処理後の最終残水は、産業廃棄物として適正に処理を行い、外部への放流は行いません。



高圧洗浄による付着灰除去作業



付着灰除去前



付着灰除去後

アスベストの除去工事

- 各建屋の内装材及び外壁に使用されているアスベストを含んだ建材は、その建材の性状に応じたアスベストを飛散させない工法により除去を行います。
- 作業時は、防塵防毒マスクや保護服を着て作業を行いません。



湿潤・手ばらしによる
床材の撤去作業



湿潤・手ばらしによる
屋根・壁材の撤去作業



湿潤・手ばらしによる
内装材の撤去作業